

河越館跡 史跡公園としてオープン



河越館跡 施設案内図

史跡の全体面積は約四万九千㎡のうち公有地約三万八千㎡、第一期工事として約一万四千㎡が史跡公園として整備され、十一月十四日オープンします。

公園には井戸跡、堀区画、塚状遺構が復元されています。日本共産党は三十七年前「河越氏館跡を保存する会」に加わり公園化に向け、市議会などで提案してきました。

市民の願い実現へ みなさんと力を合わせて取り組んでいます

資源化センターの試運転が始まります

川越市資源化センター（新清掃センター）の熱回収施設が完成、十月二十日に火入れ式がおこなわれ、試運転がはじまります。

施設全体は三年計画でリサイクルセンターなどを含め総予算約二百三十億円です。



資源化センターの熱改修施設。煙突の高さは90m！

名細市民センター11月末オープン



建物本体の工事は概ね完了し、現在外構工事等が行われています。11月29日竣工式が行われる予定です。

川越市が「新エネ百選」に

太陽光、風力発電など新エネルギーの取り組み等、優れた事例を対象に「新エネ百選」に川越市が選ばれました。

全小中学校五十五校など七十七の市施設に太陽光発電設備を設置。一般住宅にも市が補助を行い、一三二〇件の太陽光発電設備が設置されています。



市内小中学校に設置されている太陽光発電システム 太陽光パネル（霞ヶ関北小）と表示盤（上戸小）

みなさんこんにちは！

寒さに向かう折、御身体を大切に

新河岸駅東口開設へ動き出す！

新河岸駅東口開設を！という地域の願いを運動にして十四年たちました。

このほど市は東口駅前広場の計画面積約三千四百平方メートルのうち約二千五百平方メートルを約四億円で買いました。

現在、東西自由通路も含め東武鉄道と協議に入っています。

市の計画では、新河岸駅東口駅前通線（仮称）や西口広場、新河



岸駅前通線（変更）も合わせたものになっており、測量や地元との協議をおこなっています。

川崎橋は平成22年に完成

新河岸川激特事業として県が工事している川崎橋（南古谷）は、平成22年度に完成する予定です。

この橋が完成すると高階地域の寺尾などの水害が緩和されます。



市議会を傍聴して①

この英子



日本共産党議員団の事務局で働くようになり、

初めて市議会を傍聴しました。

傍聴席は市役所七階にあり、住所氏名を受け付けで書けばどなたも傍聴できるようになっていました。

市議会で議案質疑、一般質問を傍聴しましたが、いま子育て世代などが収入が減られ生活が苦しい中、市立高校の授業料や学校給食費の値上げが提案されました。

日本共産党議員団は市民のみなさんの負担を軽減し市民の暮らしを守るべきだと主張していました。

市民のみなさんから「くらしが大変」という声が私にも寄せられています。市議会での論議を傍聴していると市の答弁が「市民の目線からかけ離れている」のを感じました。これからも欠かさず傍聴して市民の声が届く市議会へと勉強していきたいと思えます。

日本共産党市議会議員

佐藤けいし

2009年No.3 議会報告

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市砂475-15 / 電話 244-3288 (FAX共用)

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>



来年3月までに遊具5基設置。楽しみにしている市民の声を市に要請しました。